

2011年10月26日

株式会社radiko

アイビーシー岩手放送/東北放送/ラジオ福島/茨城放送
エフエム岩手/エフエム仙台/エフエム福島

『radiko.jp』特別復興支援サイト「<http://fukkou.radiko.jp/>」 (株)radikoと被災地区のラジオ7局で、来年3月末まで延長

株式会社radiko(代表取締役社長:岩下 宏、所在地:東京都港区新橋)と被災地区のラジオ7局(アイビーシー岩手放送、東北放送、ラジオ福島、茨城放送、エフエム岩手、エフエム仙台、エフエム福島)は、東日本大震災の復興支援プロジェクトとして実施している『radiko.jp』特別復興支援サイト「<http://fukkou.radiko.jp/>」を、来年3月末まで延長します。4月28日(木)の開設時は10月末までの配信を予定していましたが、被災地区の復興支援プロジェクトとして、来年3月11日までは延長すべきと判断してのことです。

『radiko.jp』特別復興支援サイトは、被災地区のラジオ7局の番組を、『radiko.jp』のシステムを活用して、日本全国からの聴取を可能(エリアフリー)にしています。地域密着度の高いラジオ局の特性をいかした情報を日本全国に伝達することで、大震災の風化防止、風評被害からの回避、そして被災地から避難した方々への情報提供が目的です。

『radiko.jp』特別復興支援サイトの延長について

The screenshot shows the 'radiko.jp 復興支援プロジェクト' page. At the top, it states '平成23年(2011年)東日本大震災への対応 (首相官邸ホームページへリンク)'. Below this is a navigation bar with links for 'IBC岩手放送', 'IBC茨城放送', 'TBCラジオ1260', 'FMラジオ福島', 'Date fm', and 'ふくしまFM'. Each link has a 'listen now!' button. A map of Japan highlights the disaster-stricken regions: Iwate Prefecture (岩手県), Ibaraki Prefecture (茨城県), and Fukushima Prefecture (福島県). Text on the page explains the project's goal: to provide disaster-stricken areas with a platform to broadcast their programs nationwide, preventing the fading of memories and providing information to evacuees. It also lists the participating radio stations and the project's partners: ADP Systems Inc., NTT Smart Connect Inc., and SCS Systems Inc.

【延長期間】

2012年3月末まで

【聴取方法】

パソコン、iPhone及びスマートフォン(Android端末)

【聴取可能なラジオ局】

被災地区のラジオ7局

アイビーシー岩手放送、東北放送、ラジオ福島、
茨城放送、エフエム岩手、エフエム仙台、エフエム福島

【聴取可能地区】

日本全国

※開設期間中、番組の都合上、配信できない場合がございますのでご了承ください。

特別復興支援サイト「<http://fukkou.radiko.jp/>」(PC画)